


2025年度
伊東市立八幡野小学校
グランドデザイン

- 〈国の方針〉
- ・持続可能な社会の創り手の育成
 - ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上
- 〈県の方針〉
- ・「有徳の人」の育成
- 〈市の方針〉
- ・夢と希望をもつ子どもの育成
 - ・夢や希望を育む園・学校の基盤
 - ・危機管理体制の徹底
 - ・防災教育の推進

学校教育目標
進んで学び 思いやりいっぱい やんもん子

重 点 目 標

262人 みんなが主人公
主人公:自己認識力を身に付けた子
自分のよさや強み・弱み、好き・得意、感情、考え方、価値観等を知り、それを生かし、周りと適切に折り合いをつける力



切り絵（水口千令 作）

〈子どもの実態〉

- ・素直
- ・人と関わることが好き
- ・決められたこと、頼まれたことに一生懸命取り組む
- ・自分の「よさ」「好きなこと」「得意なこと」に気付いていない
- ・自分に自信がもてず、指示されるのを待っている

学校経営目標

- ・その子らしさを味わい、引き出し、共に学校生活を楽しもう
- ・目標の達成に向け、教職員・子供間で対話し、目標・手立て決め、取り組もう
- ・個々の「強み」や「キャリアプラン（チャレンジプラン）」を生かし、学年団で協働して教育活動に当たろう
- ・豊かな人として、子供・保護者・同僚に関わろう

授 業

目標達成のための2つの柱

自分・友達活動

令和7年度研修テーマを
「自分らしく学び合う子どもたち」と設定した。
「教師が生活の様々な場面（教科学習 自分友達活動 学校生活 行事 家庭での様子など）から、その子らしさをとらえつづけることに努め、それらを単元構想や授業構想に生かし、他を求めるとする機会を設定することで、自分らしく学び合う子どもたちを育てることができるだろう。」と研修仮説を立て、授業実践を行う。

子ども一人一人の自己認識力を高めるために「自分・友達活動」を行う。ステージ毎に、

- ① 新たな集団での自己的あり方や関わり方を探究的に学ぶ
- ② 体育の見方・考え方を働きかけて探究活動をする
- ④ 自らのよさを発揮し、友達と協働して探究活動をする
- ⑤ 探究活動の中で発揮した自分や友達のよさや変容を認識し、発信する

をテーマとし、年間を通して自己についての探究活動を進める。1～2年生は「生活科」、3～6年生は「総合的な学習の時間」の中で行う。探究活動の場として、1～5年生は「学年団ペア」、6年生は「全校の縦割り班」を設定する。

「自分・友達活動」と、「特別活動」は目標・目的が異なるが、目標・目的を明確にし、相互に関わりをもたせながら活動を進める。

活動を焦点化するステージ制

1	2	3	4	5
<p>「みんなが主人公」になるための授業のルールを考えよう 自分と友達のことを知ろう</p>	<p>自分と友達のよさを見つめよう</p>	<p>自分らしさを広げよう</p>	<p>自分のよさを生かしてつくりあげよう</p>	<p>自分らしくすすんで伝え合おう 自分と友達の成長を認めよう</p>
<p>入学式 学級・学年団ディ</p>	<p>運動会</p>	<p>音楽集会</p>	<p>我らが主人公 自然教室 修学旅行</p>	<p>児童大集会 6年生を送る会 卒業式</p>

コミュニティ・スクールの推進（社会に開かれた教育課程・豊かな地域づくり）

学校運営協議会

- ・学校と地域が目標やビジョンを共有
 - ・学校運営の基本方針を承認
 - ・ゲストティーチャーとの連絡調整
- [八幡野小学校サポーター]
- ・登下校見守り隊
 - ・花飾り隊
 - ・読書見守り隊